

災害時の避難所環境改善へ

三井住友海上火災保険

三井住友海上火災保険は、2024年3月から日本キッチンカー経営審議会と連携し、避難所環境の改善に向けた取り組みを推進している。

適温食や嗜好食を機動的に被災地に提供できる同審議会と、自治体との

事前協定締結ルートや、被災時の安全な支援実施に向けたナレッジを持つ同社が連携。これにより被災時の避難所環境改善に向けた取り組みを推進している。

24年3月には、茨城県庁、同社、同審議会の三

者で、都道府県としては初の災害時におけるキッチンカーによる物資の供給などに関する協定を締結した。

25年6月に

は埼玉県庁と三者協定を締結した。これを機に、同年9月にはポータブル電源などの生産、販売を行うBLUETTI

日本キッチンカー経営審議会と連携

JAPAN（ブルーティジャパン）から災害時にポータブル電源を貸与するための三者協定を締結した。

茨城県・埼玉県・さいたま市などの取り組みを通じ、各地で類似した内容の展開・検討へと派生。トレーラーカー、キャンピングカーなどの事業団体との連携を模索する動きが加速した。

またこれらの取り組みを内閣府（防災）へ共有したところ、その他のさまざまな災害対応車両活動と合わせて、災害対応車両検索システム「DIET RACE」が創設された。

【受賞者コメント】この度は「地域・コミュニティ活性化賞」に選定いただきありがとうございます。

弊社では地域の防災力向上に資する様々な取組を検討する中で、避難所環境改善に着目し、（一社）日本キッチンカー経営審議会との共創モデルを企画、各地に展開しています。引き続き、各自治体とも連携しながら、有事に適温食や嗜好食を機動的に提供することで、避難所生活の環境を改善し、地域社会の回復力と強靱性向上に貢献していきたいと思っております。

